

今号の内容

- ② サマーチャレンジボランティア
- ③ 宿題会&ランチ会、児童クラブランチ会
- ④ 赤い羽根共同募金運動が始まります!! 『ながの結婚マッチングシステム』
- ⑤ たかぎボランティア・地域活動情報誌さくみち
- ⑥ お知らせ/4か月の予定/職員の一言

●編集・発行● 社会福祉法人喬木村社会福祉協議会 〒395-1107長野県下伊那郡喬木村6670-1 TEL 0265-33-4567 FAX 0265-33-4619
Eメールアドレスtakagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表) ホームページアドレス http://takagi-syakyo.com/
●印刷● 龍共印刷株式会社

喬木荘 敬老祝賀会



9月13日にお祝い授与式があり、今年は100歳以上6名、白寿1名、米寿3名の方が、喬木村村長よりお祝いを受け取られました。

また、敬老祝賀会では「アコーディオンサークル秋桜 +1」の皆様による演奏会も開催され、素敵な演奏会に耳を傾け、懐かしい歌と一緒に歌い、喬木荘全利用者のお祝いが盛大に行われました。

令和6年度
喬木荘敬老祝賀会



サマーチャレンジボランティア

夏休みの学生ボランティア体験

夏休み期間中の7月25日から8月20日にかけて、喬木中学生、高校生を対象に『サマーチャレンジボランティア』が行われました。ボランティア活動に参加してみたい学生が44名参加され、村内福祉事業所や地域のサロン等にて活動を行いました。

子ども学遊館に参加された中学生より「小学生の頃には学遊館に通っていました。夏休みを活用しボランティアとして学遊館に行くことができ、また以前とは違った目線で子ども達と関わることができ貴重な体験となりました。また、機会があれば子ども達と接する活動に参加してみたいです。」との感想がありました。夏休みのボランティア活動を通して“福祉”に興味をもつきっかけになったと思います。

子ども学遊館でのひとコマ



【アイスサービス】



アイスサービスには中学生、高校生のボランティアが延べ15名の参加がありました。夏と言えば“かき氷!”ということで、かき氷を作ってもらい、夏祭りを一緒に盛り上げてくれました。利用者さんから「冷たくておいしい」と嬉しそうな顔で食べられ、楽しめました。

「なずなカフェ」



7月30日に開催した「なずなカフェ」では、中学生ボランティア2名の参加がありました。会場の準備やお茶菓子の用意などスタッフと一緒に受入準備を行いました。お客さんと明るく交流し、学校生活の話や昔の思い出など話をして盛り上がっていました。皆さんとても良い表情をされていました。



「喬木荘」

喬木荘へは4人の学生さんがボランティアに来てくださり、シーツ交換と車椅子洗いをしてくださいました。暑い中、積極的に熱心に行ってくくださったおかげで、利用者の皆さん綺麗になった寝具、車椅子で気持ちよく過ごしていただいています。



宿題会&ランチ会(8/2)

児童クラブランチ会(8/9)

令和6年8月2日(金)に夏休み特別企画として、宿題会&ランチ会をみんなの広場アスポで行いました。約40名の小学生が、学びを通して中高生ボランティアの皆さんと交流をしました。はじめは恥ずかしさがあり、聞けなかった児童も次第に手を挙げ「せんせーい！」と元気な声でボランティアを呼び解き方を教えてもらっていました。

顔見知りの児童も多く、楽しく笑顔で、時には真剣に取り組んでいました。「家でやるより早く終わった！」と話す男子児童に「ボランティアに呼んでもらえればまた来たいです」と女子高校生ボランティアが笑顔で応えてくれました。

その後は、地域の方から寄せられたお米や野菜、そして女性団体連合会のボランティアさんのパワーのおかげでおいしいカレーが完成しました。

そこにはボランティアさん、信濃こぶし会放課後デイの皆さん、宿題会に参加した小学生の68名の皆さんが集い、ごちゃまぜランチ会でたくさんの笑顔に出会うことができました。



ぬちよっといひ話

野菜募集をしたところ、地域の方々からたくさんの野菜とお米を頂きました。その中のお一人から「ラジオで子ども食堂の話をして聞いて涙が出てきた。喬木村の子どもたちにお腹一杯食べてもらいたいから」とメッセージを頂きました。想いの込められた食材は、大切に使用させて頂きました。

一週間後の8/9(金)には、児童クラブ対象のランチ会を多目的ホールで行いました。

大人ボランティアさん、中高生ボランティアさん、児童クラブの約120名のカレー会とあって朝からカレーを作ってくれるボランティアさんも準備に大忙しでした。中高生ボランティアの皆さんも大人ボランティアの皆さんに教わりながら真剣に調理をしていました。

1時間半ほどで完成した大鍋5つ分のカレーや、漬物、焼いた夏野菜などは、中高生ボランティアの皆さんが配膳をし、児童の皆さんに食べられる量を聞きながら盛り付けをしていました。児童からは「カレーが甘くておいしかったから2杯目！」や「この後のお楽しみはスイカ!!」といった声が聞かれました。地域の方の支援により、盛大なランチ会を2回も開催することができました。本当にありがとうございました。この場を借りて感謝いたします。





募金運動期間 10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金運動が始まります!!

10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。

村内の各世帯や企業・団体から集まった赤い羽根共同募金のうち約7割は喬木村に還元され、様々な福祉活動に役立てられます。残りの3割は市町村を越えて行われる活動や自然災害の被災者支援のために使われます。

今年度、喬木村共同募金委員会では、1,020,000円を目標に募金活動を実施します。目標額を定めていますが、あくまでも任意の募金となりますので、趣旨をご理解いただき、皆様の温かいご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



～皆様からの募金は、身近なところで活用されています～



ふれあい広場

障がいの有無や年齢にとらわれず、地域に暮らす人たちが交流でき、福祉に対する理解を深めることを目的に開催しています。



稲穂会

75歳以上ひとり暮らしの方を対象とした、食事会や日帰り旅行を実施しています。



希望の旅

障がいをお持ちの方とその介護者の方の交流を目的に、日帰り旅行に出かけています。

喬木村結婚相談所

『ながの結婚マッチングシステム』
10月～利用ができるようになります。

【ながの結婚マッチングシステムとは・・・】

- 喬木村結婚相談所に登録することで利用開始することができます。
- 長野県の婚活支援であるため、安心して素敵なお相手を見つけることができます。
- お持ちのスマホ・PCを使って好きな時間にお相手探し、AIがあなたと相性のよいお相手をご提案。
- 結婚相談員があなたの出会いをサポートします。

登録から
実際までの流れ

- ① ご利用をご希望される方は、喬木村結婚相談所へ予約
- ② スマートフォン等から仮登録
- ③ 登録時必要書類を持って結婚相談所へ来所し、本登録を行います。
- ④ 登録後に登録料振込先がメールに送られます。(※通常、2年間10,000円)
- ⑤ お相手探し、気になるお相手にお見合い申込みもできます。

(登録時の必要書類)

- 写真付きの身分証明書 (運転免許証・マイナンバーカード)
- 市町村役場で発行することのできる独身証明書

【登録予約】



相談場所 毎月第3土曜日に開催 福祉センター談話室 (喬木村 6677)
相談員 林 司 大島砂緒里 木下光子 原 美春 福澤一成
お問合せ みんなの広場アスポ (Tel 33-5520)

たかぎボランティア・地域活動情報誌



さくみち



令和6年10月発行
編集・発行
喬木村社会福祉協議会
ボランティアセンター
Tel33-5520
fax33-5330

ふれあい広場 開催のお知らせ

赤い羽根共同募金分配金事業

子どもから大人まで地域の方が楽しめる企画です。

お友達もお誘いの上、お気軽にご参加お待ちしております。

また、ふれあい広場と一緒に盛り上げてくださるボランティア募集しています。QRコード(ボラ参加)より申込みできます。

11月23日(土)

みんなの広場アスポ

開催：10時～12時

豚汁 無料配布!!

ボランティアが作る具だくさんの豚汁を10時30分から配布します。

農産物バザーに寄付いただいた野菜の一部を使用して豚汁を作ります。

温かい豚汁を是非どうぞ!



「今年のふれあい広場の様子」

ボラ参加
【申込みはこちら】



協働・共創によるSDGs推進プロジェクト

子ども用品リユース!!

気になる物がありましたら持ち帰りできます。

☆ 幼児から小中学生の衣類

学用品、おもちゃ、日用品 など

☆ 小型家電のリユースも行います。



農産物バザー!!

地域の皆さまから寄付いただいたキズ物、規格外の野菜、果物の100円バザーを行います。

寄付をお待ちしております。

その他の企画も計画中

子ども用品募集します

対象：幼児から小中学生の衣類、学用品、おもちゃ、日用品

受付期間：11月15日～11月22日

受付場所：役場庁舎 1F 保健福祉課

【返却】

ふれあい広場終了後の引き取りは不要

【問合せ】

役場保健福祉課 Tel 33-5123



農産物バザー品 募集

ご家庭にあるキズ物、はね出し等の野菜や果物の寄付にご協力をお願いします。バザー売上金は食料を必要とされている方を支援するフードバンクに寄付します。

募集する食材：ご家庭にある野菜、果物

【キズ物、はね出し、規格外、食べきれない野菜や果物等】

受付日時：11月22日(金)9:00～16:30

11月23日(土)8:30～10:00


受付場所：みんなの広場アスポ



ご寄付をいただきありがとうございますとご報告いたしました

地域の方からご寄付を届けて下さいました。大切に使用させていただきます

名様	名様	名様	名様	名様	名様
金30,000円	紙おむつ・パット	金2,000円	金10,000円	紙おむつ、パット等	金10,000円



ご協力ありがとうございました



喬木まつりが9月28日に行われ、喬木村社協ではワークショップブースで、「頑張れ能登！応援企画『自分だけのオリジナルスノードームを作ろう』」を行いました。制作を楽しみに受付で順番待ちをして下さる方や、親子で参加して下さい方も多くおられました。大変好評でお昼過ぎには材料が無くなり終了となりました。参加費の一部は能登への義援金となりました。

午後は能登への義援金のご協力を呼掛け、たくさんの方に心を寄せていただきました。

今回の義援金は能登半島豪雨義援金として共同募金会から各町村を通じて被災者の方へ配分されます。



義援金総額 42,892円

ワークショップ参加費からの義援金	9,924円
令和6年能登半島豪雨災害義援金	32,968円

10月の予定	結婚相談	19日 (土)	14:00~17:30	福祉センター談話室(予約制)
	なずな予防カフェ	22日 (火)	10:00~12:00	アスポ
11月の予定	心配事相談	8日 (金)	10:00~11:00	アスポ
	結婚相談	16日 (土)	19:00~20:00	社協会議室(予約制)
	なずなカフェ	12日 (火)	10:00~12:00	アスポ
12月の予定	なずな予防カフェ	26日 (火)	10:00~12:00	アスポ
	心配事相談	6日 (金)	10:00~11:00	福祉センター
	結婚相談	21日 (土)	19:00~20:00	福祉センター談話室(予約制)
1月の予定	なずなカフェ	10日 (火)	10:00~12:00	アスポ
	なずな予防カフェ		お休み	
	心配事相談	14日 (火)	10:00~12:00	アスポ

職員インタビュー

9月7日スピードスケートの小平奈緒さんの講演会に行って来ました。優しい笑顔が素敵で温かく誠実な性格が垣間見られた講演会でした。その中でも感動的だった2018年平昌オリンピックでのエピソード。金が確定した小平選手が、ずっとライバルで追い続けてきた韓国のイ・サンファ選手が滑り終えた後、すぐに駆け寄り声をかけていた姿が当時印象的でした。何と声をかけていたのか、その言葉が「よく頑張ったね」。小平選手は試合前日眠る前に、自分の滑りのことでも、金メダルのことでもなく、サンファ選手の体調を心配していたと言います。10代からライバルであり、友達でもあったサンファ選手は、オリンピック3連覇を期待されていましたが、長い選手生活で膝を痛めていたそうです。そんな二人の友情エピソードに小平選手の人間性を感じ、いっぺんにファンになってしまいました！(N.H)

ご意見・ご要望をお寄せください

社会福祉法人 喬木村社会福祉協議会
 電話 0265-33-4567 fax 0265-33-4619
 Eメールアドレス takagi-shakyo@miracle.ocn.ne.jp(代表)

